

# 2024年10月期第1四半期 決算補足説明資料

---

株式会社CAICA DIGITAL(2315)

2024年3月15日

01	概要	03
02	2024年10月期 第1四半期決算	10
03	2024年10月期 通期業績見通し	21
04	中期経営計画	27
05	トピックス	36
06	Appendix	46

01

# 概要

02

2024年10月期 第1四半期決算

03

2024年10月期 通期業績見通し

04

中期経営計画

05

トピックス

06

Appendix

商号	株式会社CAICA DIGITAL
事業内容	グループ会社の管理運営
設立	1989年7月14日
所在地	東京都港区南青山五丁目11番9号
代表	代表取締役社長 鈴木 伸 代表取締役副社長 山口 健治
資本金	50百万円(2024.03.01現在)
連結売上高	5,408百万円(2023.10.31現在)
決算期	10月
上場市場	東京証券取引所スタンダード

主要子会社	
商号	株式会社CAICAテクノロジーズ
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>- システムインテグレーション業務</li> <li>- ITサービス業務</li> <li>- Web3関連開発業務</li> </ul>
設立	2019年10月7日
代表	代表取締役社長 鈴木 伸 代表取締役副社長 鈴木 偉真
資本金	301百万円
商号	株式会社カイカフィナンシャルホールディングス
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Zaif INO運営業務</li> <li>- Web3コンサルティング業務</li> <li>- カスタマーディベロップメント業務</li> </ul>
設立	2021年11月1日
代表	代表取締役社長 鈴木 伸
資本金	50百万円

※ カイカ証券は金融商品取引業の廃止に伴い、2023年12月1日付で商号を株式会社EWJ（英語表記：EWJ Inc.）に変更し、現在残務整理を行なっております。なお、本スライドでは呼称をカイカ証券と統一致します。

# 当社のセグメント

当社は、安定的な収益を生む「ITサービス事業」、拡大するマーケットの中で収益獲得を見込む「金融サービス事業」から構成されます。ITサービス事業においては上流工程の獲得や、価格改定により、より強固な収益体制を目指します。金融サービス事業においては2023年10月期末の再編に伴い慢性的な赤字体質を改善し、グループへの貢献を図ってまいります。

## ITサービス事業

### ITサービス事業

ブロックチェーン等の最先端技術や豊富な開発実績を活かした自社開発のITサービスを販売しております。企業のデジタル・トランスフォーメーション（DX）化を実現します。

### システムインテグレーション事業

金融、ポイント・決済、公共・官公庁、EC・通販をはじめとした業界領域で培ったノウハウを基に、システムの企画検討から、設計・構築、運用・保守に至るまで、フロント、バックオフィスから基幹系システムを問わず最適なシステム提供をいたします。

## 金融サービス事業

### Zaif INO運営事業

審査制のNFTローンチパッドZaif INOを運営します。暗号資産決済のほか、クレジットカード決済に対応しクオリティの高いNFTを提供します。

### カスタマーディベロップメント事業

暗号資産や金融業界をはじめとした様々な業界に適応可能な顧客対応事業です。ご相談いただいた業務内容に合わせて、高水準のカスタマーサポートチームを提供するほか、カスタマーとの友好的な関係構築を支援いたします。

### 暗号資産発行・運用事業

自社発行暗号資産カイクコインの運用を行います。ユーティリティの拡大に伴う暗号資産価格の上昇により当社の保有する資産価値の向上を図るとともに収益の最大化を図ります。



# 事業構造の抜本的な見直し

CAICA DIGITALは「デジタル金融の未来を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、暗号資産交換所Zaifやカイカ証券をはじめ、様々な形態の金融サービス業を行ってまいりました。

しかし市場環境の変化など多くの要因により当初期待した収益を得られなかった結果、2023年10月期を以て事業譲渡や廃業により一部金融サービスの運営から退くことと致しました。

2024年10月期以降は従来より堅調であったITサービス事業を軸に赤字体質からの脱却、売上の拡大を目指し、業績の改善を図ってまいります。

また現在までに培ったノウハウを武器に引続き「デジタル金融の未来を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、Zaif INOの運営やカイカコイン等のWeb3分野におけるサービスといった事業も継続してまいります。

# 代表メッセージ

当社は「デジタル金融の世界を切り拓く」というミッションを胸に、その実現に向けて挑戦を続けています。

長年にわたる金融システムの構築実績をベースに、ブロックチェーン技術や暗号資産交換所の運営を通して、私たちはデジタル金融の世界で一步先を行くパイオニアとしての挑戦を続けてきました。そして、2022年10月、私たちは新たな挑戦として、Web3事業への参入を果たしました。GameFiにおけるNFTのローンチパッド「Zaif INO」や、法人向けコンサルティング事業の「CAICA Web3 for Biz」の推進を通じて、未来への道を切り拓いています。

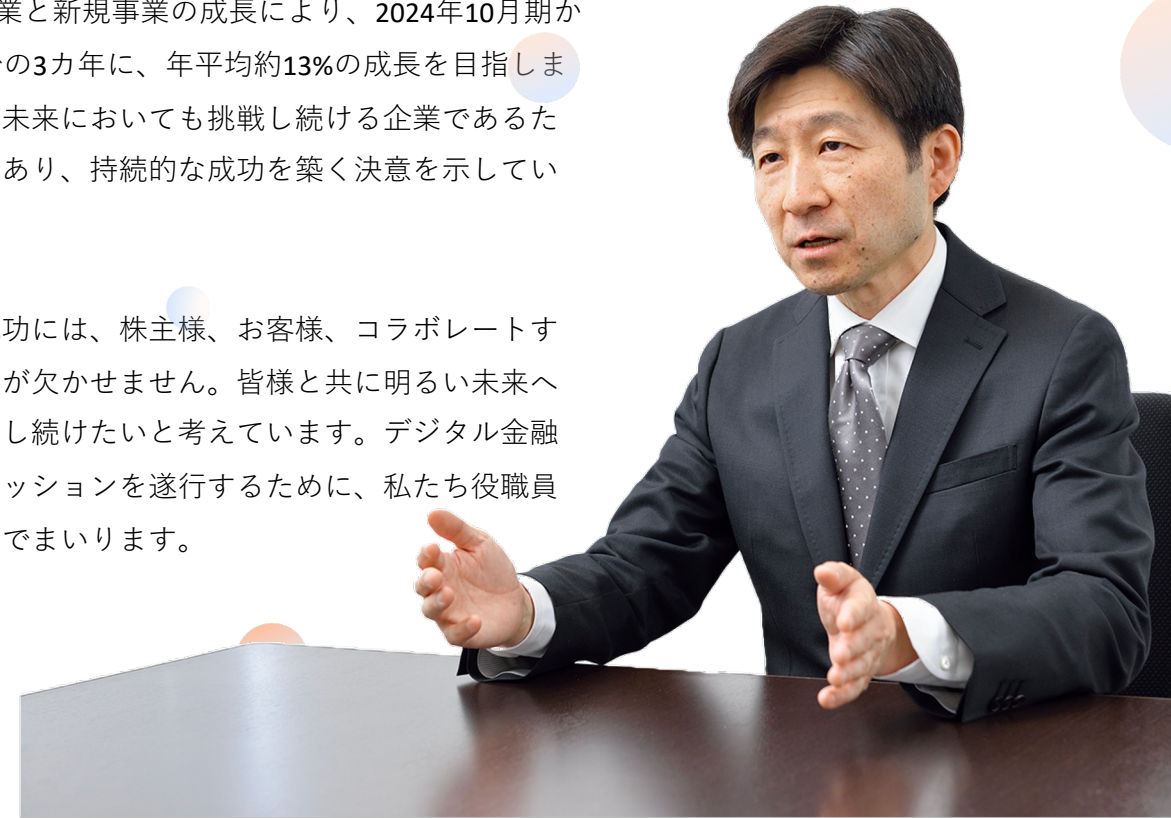
また、当社が発行するカイカコインは、上場企業が発行する希少な暗号資産であり、その価値を広めるために新たなビジョンを発表しました。「カイカコインをブロックチェーンにおけるゲームコインに！」を宣言し、ユーティリティの拡大と独自

サービスの創出に力を注いでいます。カイカコインはデジタル金融の未来を切り拓く重要なアイテムと位置付け、その可能性を最大限に引き出すために取り組んでいます。

そして、2023年10月に私たちは新たな中期経営計画を発表しました。ITサービス事業と新規事業の成長により、2024年10月期から2026年10月期までの3カ年に、年平均約13%の成長を目指します。これは、当社が未来においても挑戦し続ける企業であるためにも必達の計画であり、持続的な成功を築く決意を示しています。

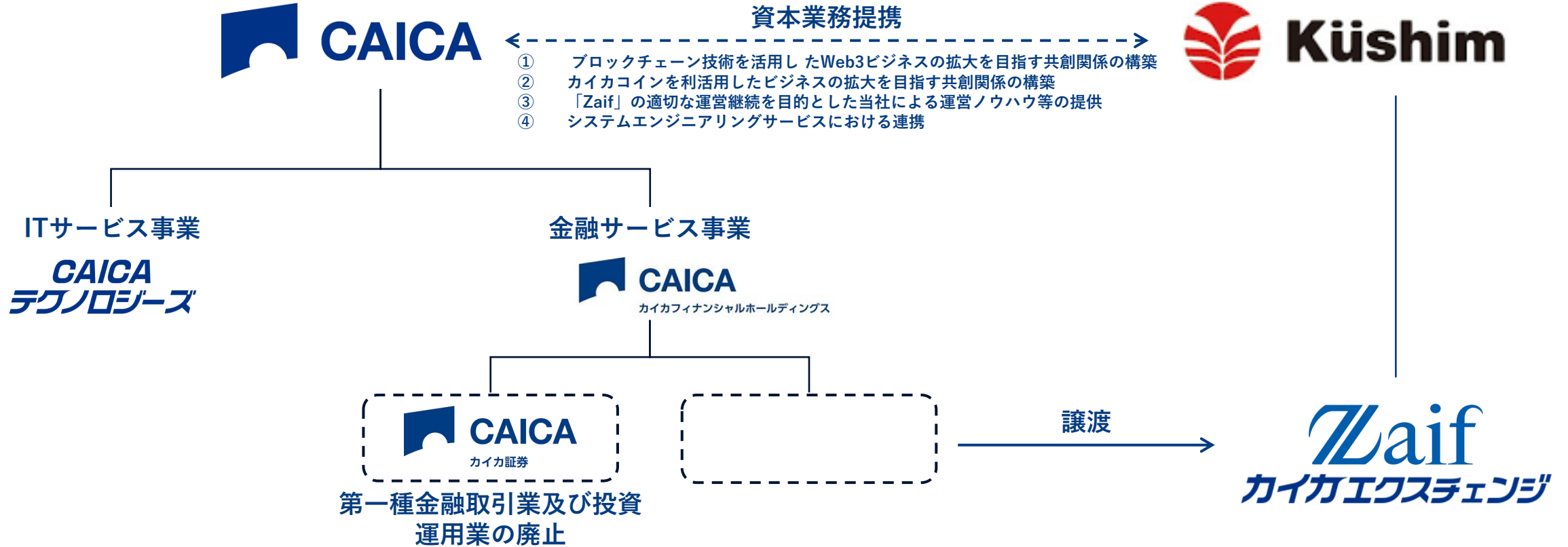
最後に、私たちの成功には、株主様、お客様、コラボレートする企業様のお力添えが欠かせません。皆様と共に明るい未来への旅を共有し、成長し続けたいと考えています。デジタル金融の未来を切り拓くミッションを遂行するために、私たち役職員は一丸となって進んでまいります。

CEO代表取締役社長 鈴木伸



# 金融子会社の再編と新たな資本業務提携

金融サービス事業の損失の主要因となっていた暗号資産交換所Zaifの運営を行う株式会社カイカエクスチェンジ※1を株式会社クシム(2345)に対して2023年10月31日(2023年10月期末)付で譲渡しました。またカイカ証券株式会社※2につきましても現在、第一種金融取引業及び投資運用業の廃止を致しました。一方、株式会社クシムより出資を受けることにより資本業務提携を締結しました。



1. カイカエクスチェンジホールディングス、カイカキャピタルも含まれます。
2. 関係会社 EWARRANT INTERNATIONAL LTD.、EWARRANT FUND LTD.の事業縮小も含まれます。



# 販管費削減に伴う収益体質の再構築

金融サービス事業のZaif譲渡及び、カイカ証券の廃業に伴い、2024年10月期以降、販管費約2,200百万円<sup>※1</sup>が削減される予定です。

Zaifの譲渡、カイカ証券の第一種金融商品取引業廃止に伴う業績への影響に関して<sup>※2</sup>

売上高	増加見込み <sup>※3</sup>
販管費	販売管理費約2,200百万円 <sup>※1,4</sup> を削減の予定
営業利益	販管費の削減に伴い、2024年10月期 <sup>※5</sup> より順次営業収支が正に転じる想定

## 販管費大幅削減の影響により、常態的に営業収支がプラスとなる体制を構築

- 2023年10月期の通期実績をもとに概算を表示。現在Zaifの譲渡及びカイカ証券の第一種金融取引業廃止に伴う会計処理を行っており、増減する可能性があります。
- カイカエクステンジホールディングス、カイカキャピタル、EWARRANT INTERNATIONAL LTD.、EWARRANT FUND LTD.を含みます。
- 2023年10月期に対して、Zaif及びカイカ証券が連結から外れることによる売上高の減少は軽微の見通しです。なお連結売上高にITサービス事業の金融サービス事業(主にZaif)に対するシステム開発が内部取引から外部顧客への売上高に振替えられるため連結売上高は増加の見込みです。また金融サービス事業のシステム開発からリソースを再分配することにより外部顧客からの売上高が増加する見込みです。
- (参考)2023年10月期の通期営業損失は2,378百万円です。
- 2024年10月期中までカイカ証券の第一種金融商品取引業の廃止に伴う支出は継続する見通しです。

01

概要

02

**2024年10月期 第1四半期決算**

03

2024年10月期 通期業績見通し

04

中期経営計画

05

トピックス

06

Appendix

# 2024年10月期 第1四半期連結業績ハイライト

## 売上高

連結売上高**1,354**百万円

通期見通し 6,302百万円

## 営業利益

連結営業利益**▲77**百万円

通期見通し 169百万円

## 経常利益

連結経常利益**▲121**百万円

通期見通し 162百万円

## 純利益

連結純利益**▲228**百万円

通期見通し 137百万円

## ITサービス事業

- 需要拡大や利益率の高い案件の獲得により売上、利益とも好調の滑り出し

## 金融サービス事業

- 不採算事業からの撤退に伴い、大幅に赤字幅縮小
  - Zaifの譲渡に関連した費用の計上は2023年10月期末で終了
  - カイカ証券の第一種金商取引業の廃業に関連する費用の一部を当第1四半期に計上
- カイカコインの評価損や再編に要するコストの計上により一過性の損失が発生
  - 資産評価額の減少となった一方、当第1四半期においてはキャッシュフローへの影響はなし

通期見通しについては現在、上記以外の要素も含めて精査中

# 2024年10月期 通期連結業績サマリー

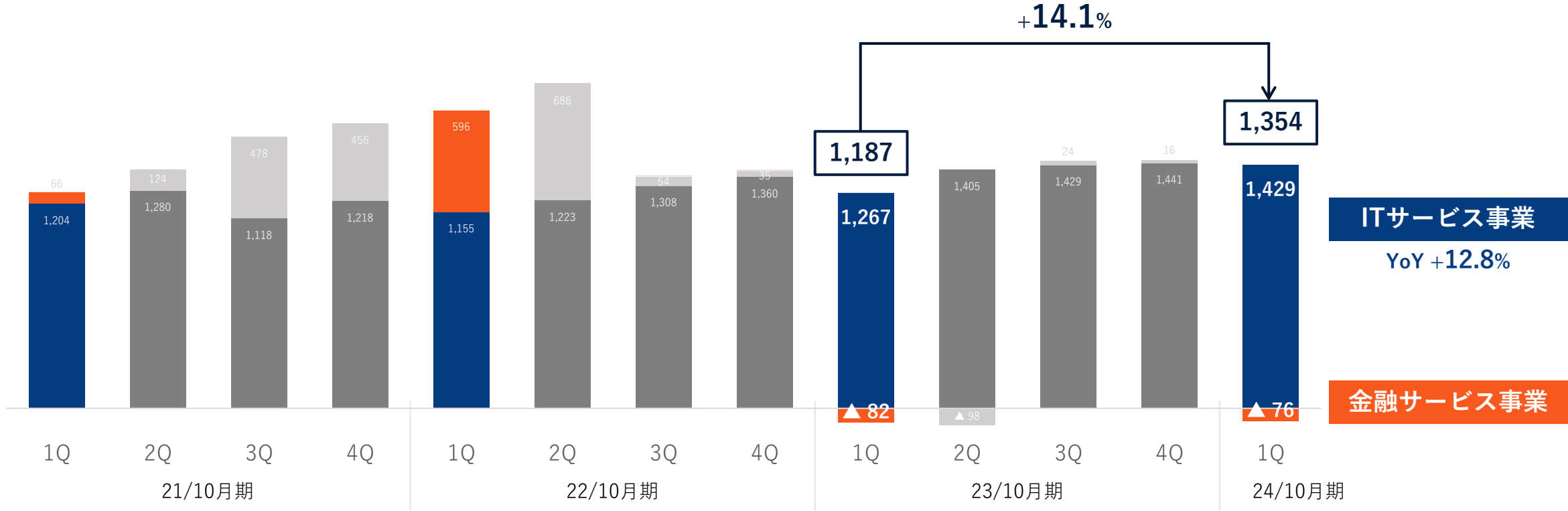
	23/10月期 1Q 実績	24/10月期 1Q 実績	前期比	
売上高	1,187	1,354	+167	+14.09%
売上総利益	24	146	+121	+493.20%
売上総利益率	2.08%	10.83%	-	-
営業利益	▲728	▲77	+651	-
営業利益率	-	-	-	-
経常利益	▲741	▲121	+620	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	▲743	▲228	+515	-

# 四半期毎の連結売上高推移(1)

連結売上高は14.1%増となりました。ITサービス事業においては金融機関向けのシステム開発、消費税インボイス制度対応の案件増、既存顧客からの引合い増などを要因として極めて堅調に推移した結果、前期比+12.8%増となりました。一方、金融サービス事業においては自社で発行するカイカコインの価格が下落し評価損が発生したことに等に伴い売上高にマイナス計上した結果▲76百万円となりました。

1. 内部取引控除後の数字を記載

(百万円)



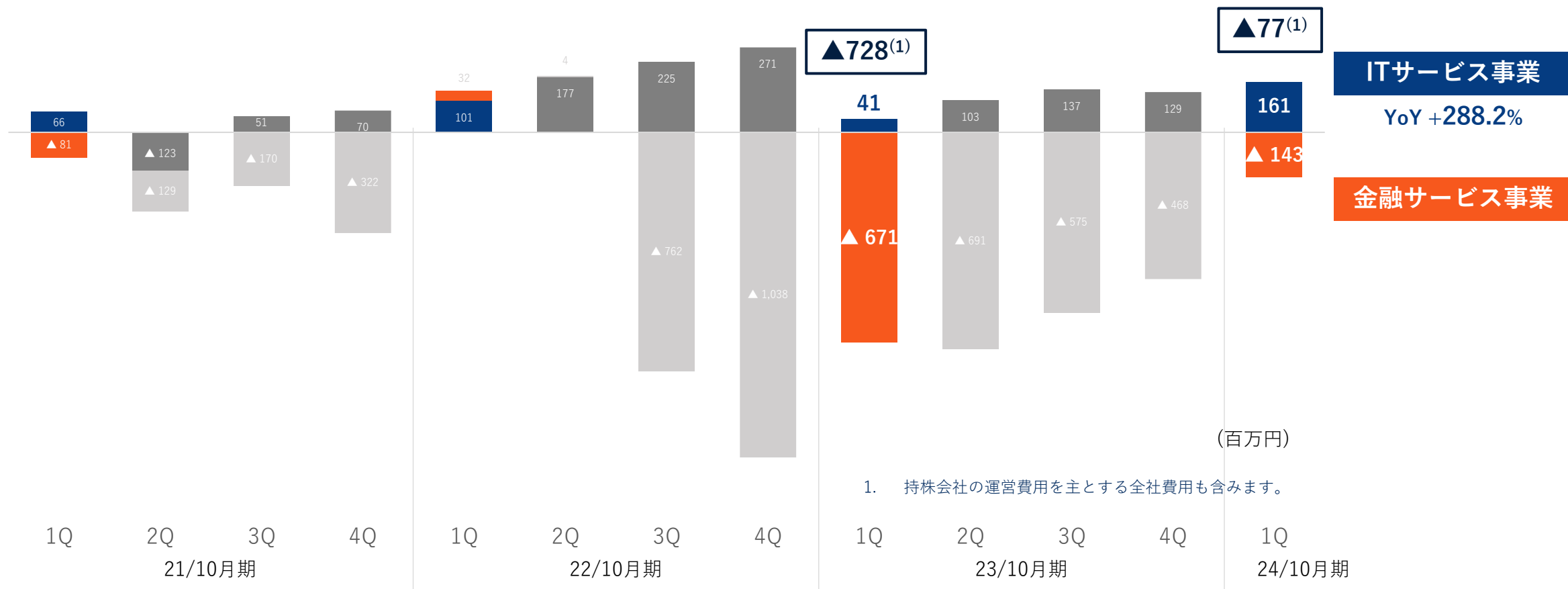
ITサービス事業

YoY +12.8%

金融サービス事業

# 四半期毎のセグメント損益の推移

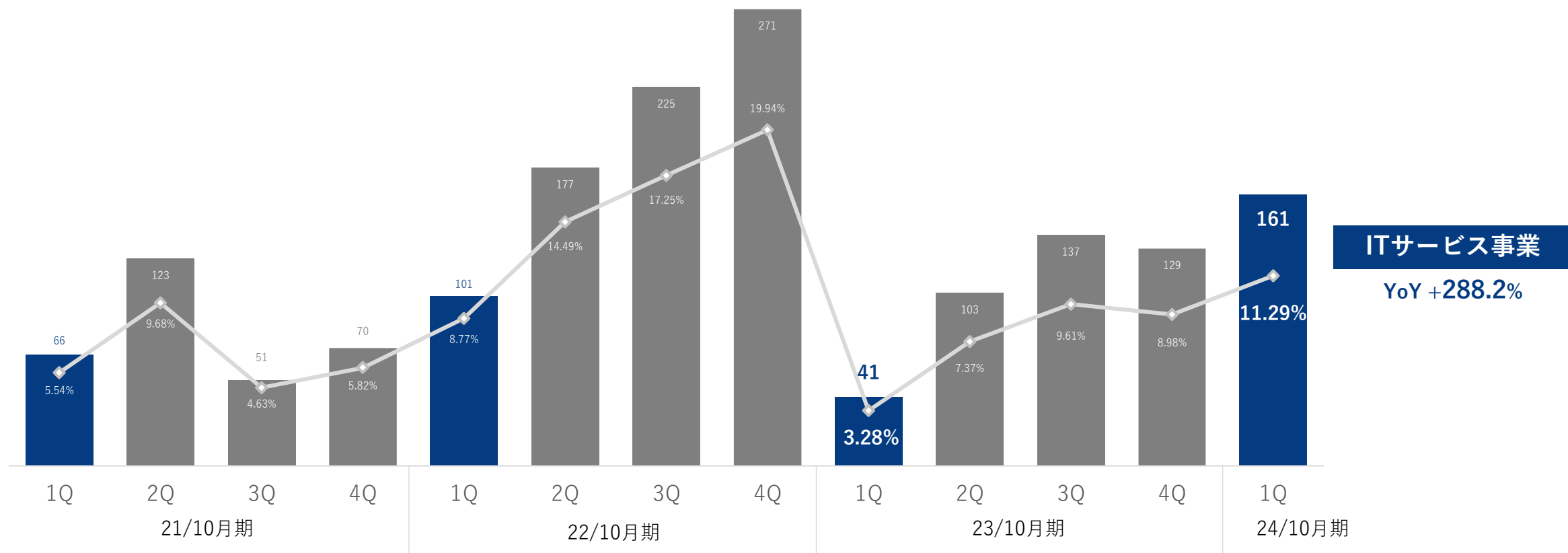
ITサービス事業のセグメント利益は売上高増に伴い前期比+288.2%となりました。金融サービス事業は前期末に行った事業再編に伴い損失幅を改善した一方、再編に係るコストや暗号資産評価損の影響によりマイナスとなりました。なお当該要因による損失は一過性と考えております。



# 四半期毎のITサービス事業の営業利益率推移

既存顧客に対して積極的に単価交渉を行う、利益率の高い案件の獲得を目指す等の施策により、対ITサービス事業売上高に対する利益率は3.28%から11.29%へと大きく改善しました。結果として前期比+288.2%増と、およそ4倍に迫る利益水準を達成しました。第2四半期以降は更なる伸長を見込んでおります。

(百万円)

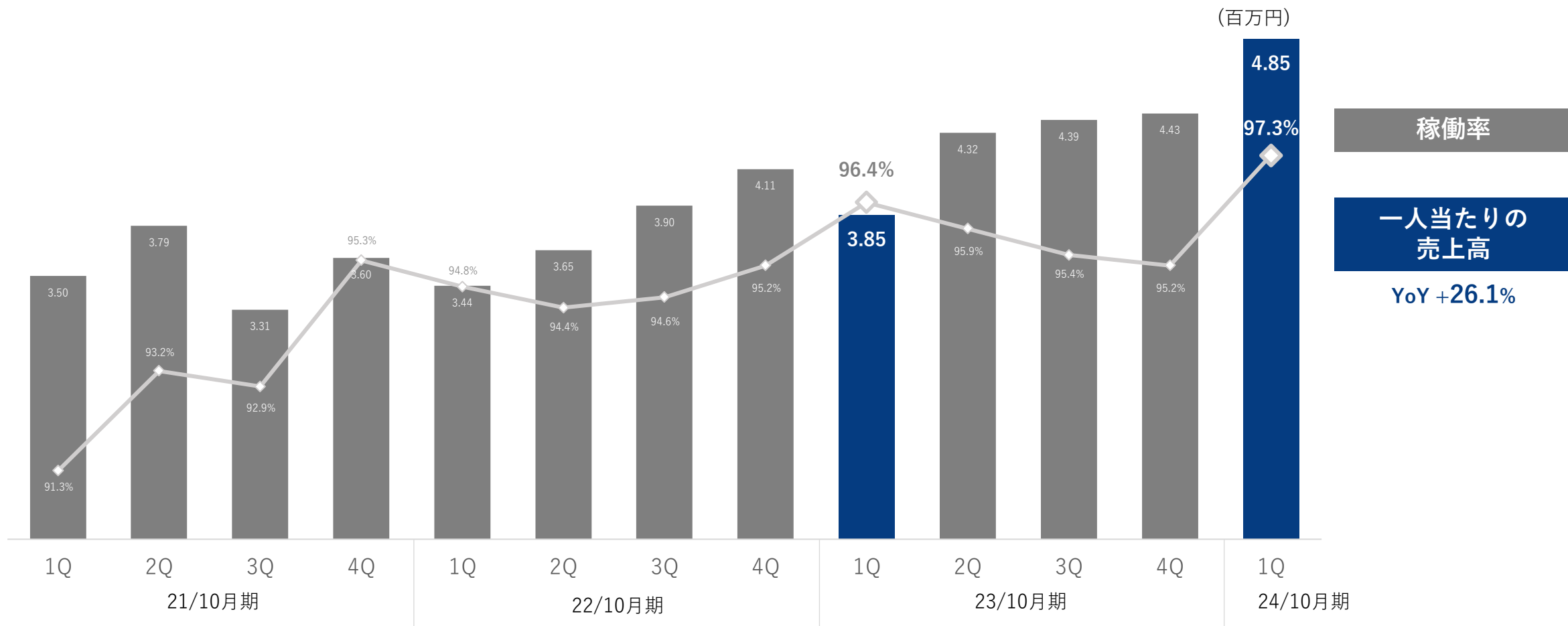


**ITサービス事業**  
YoY +288.2%



# ITサービス事業KPIの推移

ITサービス事業は一人当たりの売上高、稼働率ともに順調に伸長しております。今後、中期経営計画に掲げた通り一人当たりの売上高を更に伸長させると同時に、人員数を拡大することでITサービス事業における売上を大きく拡大させる計画です。



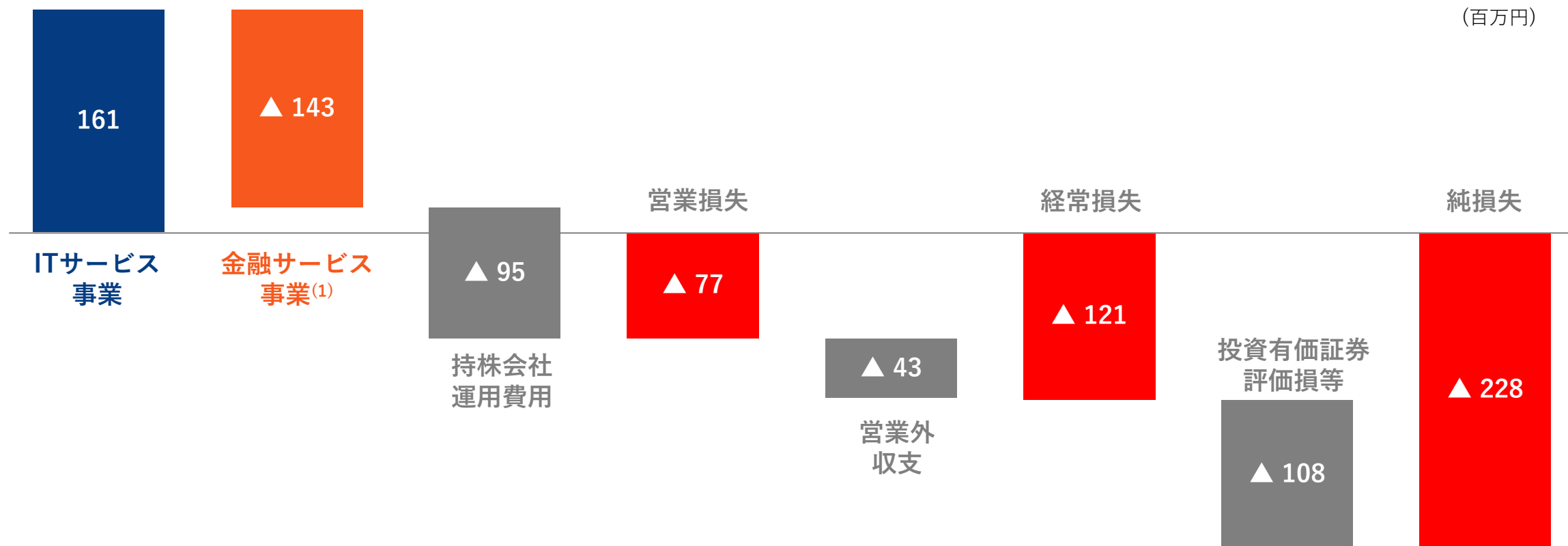
稼働率

一人当たりの  
売上高

YoY +26.1%

# 各利益の状況について

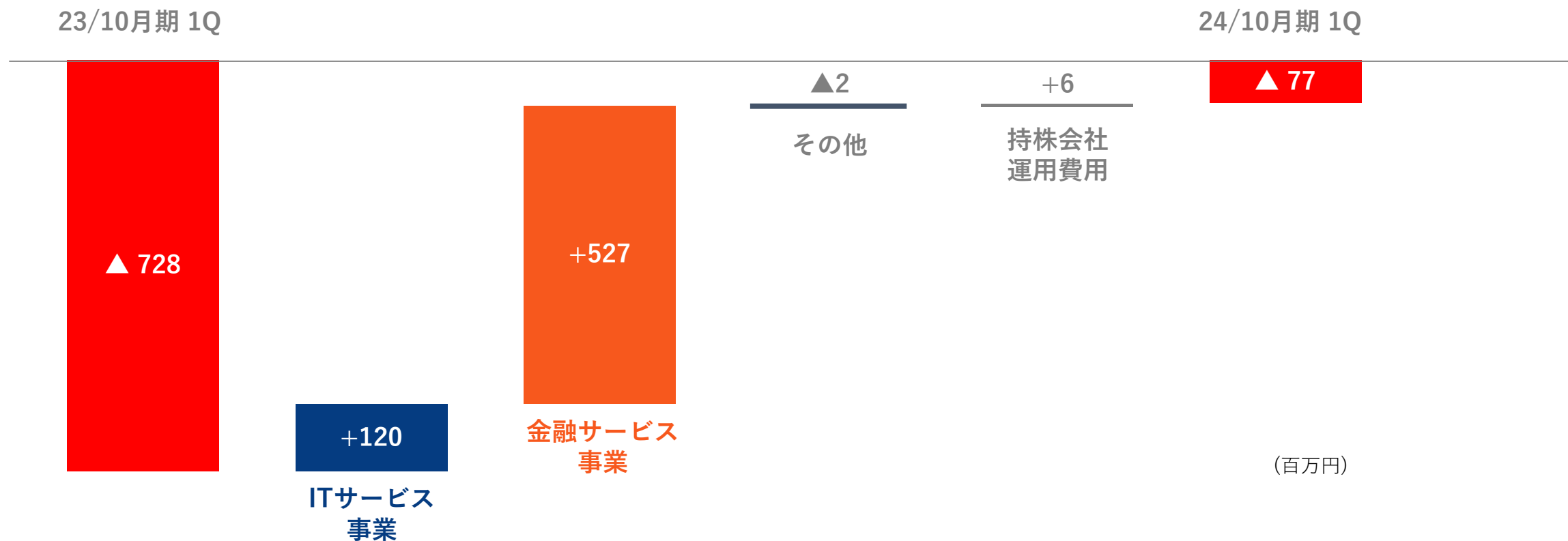
ITサービス事業は好調であった一方、金融サービス事業の一過的な損失などが影響し、結果として営業損失は▲77百万円となりました。また政策保有する株式の評価損が主要因となり▲108百万円の特別損失を計上した結果、純損失は▲228百万円となりました。第2四半期以降、金融サービス事業の改善を図ると同時に、コスト抑制を行うことで各利益の向上を図ってまいります。



1. 含カイカコイン評価損

# 営業利益の増減要因について

金融サービス事業の不採算事業の撤退、ITサービス事業の好調を主要因として、2023年10月期と比較して営業利益は約+647百万円となりました。



## 貸借対照表の推移について

金融サービス事業の再編に伴い、Zaifが連結から除外されたため前期末時点より貸借対照表の状況が大きく変わりました。これにより財務の健全性を示す自己資本比率は2023年10月期第1四半期時点の約9.04%から約74.79%となりました。

(百万円)	23/1Q	23/4Q	24/1Q		23/1Q	23/4Q	24/1Q
<b>資産の部</b>	47,224	2,971	2,726	<b>負債の部</b>	42,716	773	667
内 現預金	2,120	1,049	977	内 預り暗号資産	34,017	-	-
内 利用者暗号資産	34,017	-	-				
				<b>純資産の部</b>	4,508	2,198	2,059
				内 株主資本	4,228	2,169	1,940

01

概要

02

2024年10月期 第1四半期決算

03

**2024年10月期 通期業績見通し**

04

中期経営計画

05

トピックス

06

Appendix

# 2024年10月期 通期業績見通しハイライト

## 売上高

連結売上高**6,302**百万円

前期実績 5,408百万円

## 営業利益

連結営業利益**169**百万円

前期実績 ▲2,378百万円

## 経常利益

連結経常利益**162**百万円

前期実績 ▲2,560百万円

## 純利益

連結純利益**137**百万円

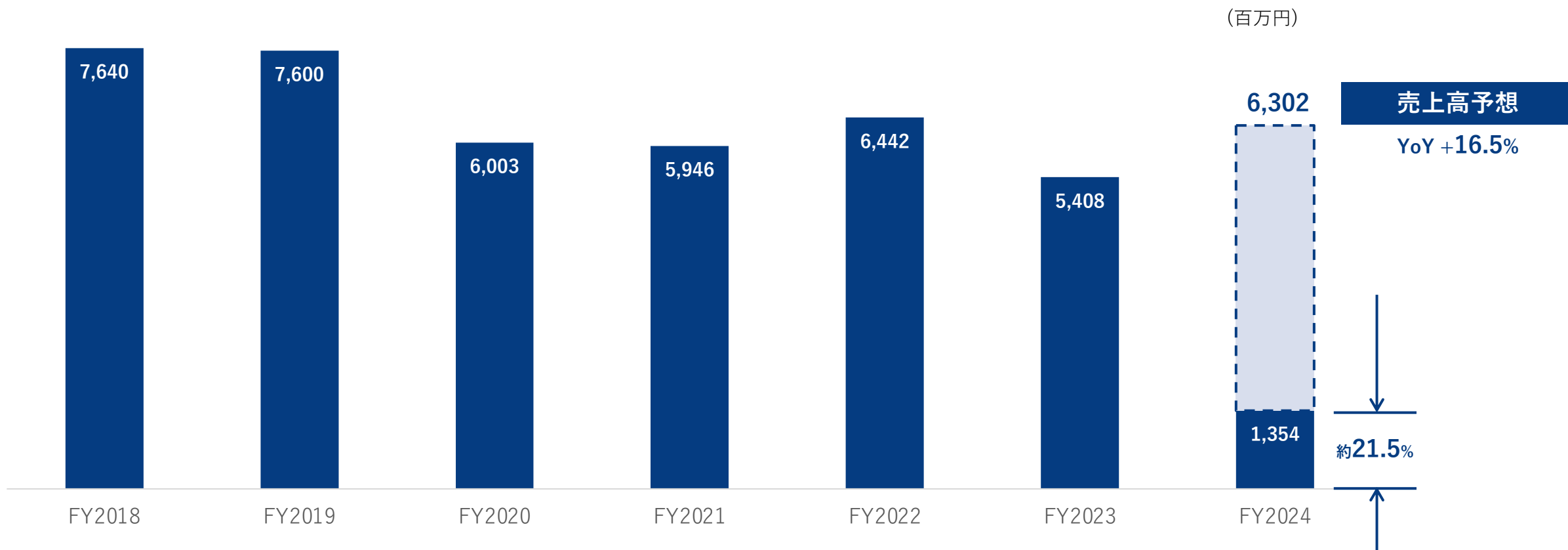
前期実績 ▲3,889百万円

# 2024年10月期 通期業績見通しサマリー

	23/10月期 実績	24/10月期 業績見通し	前期比	
売上高	5,408	6,302	+894	16.53%
売上総利益	520	-	-	-
売上総利益率	9.62%	-	-	-
営業利益	▲2,378	169	+2,547	-
営業利益率	-	2.68%	-	-
経常利益	▲2,560	162	+2,722	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	▲3,889	137	+4,026	-

# 通期連結売上高の推移と進捗状況

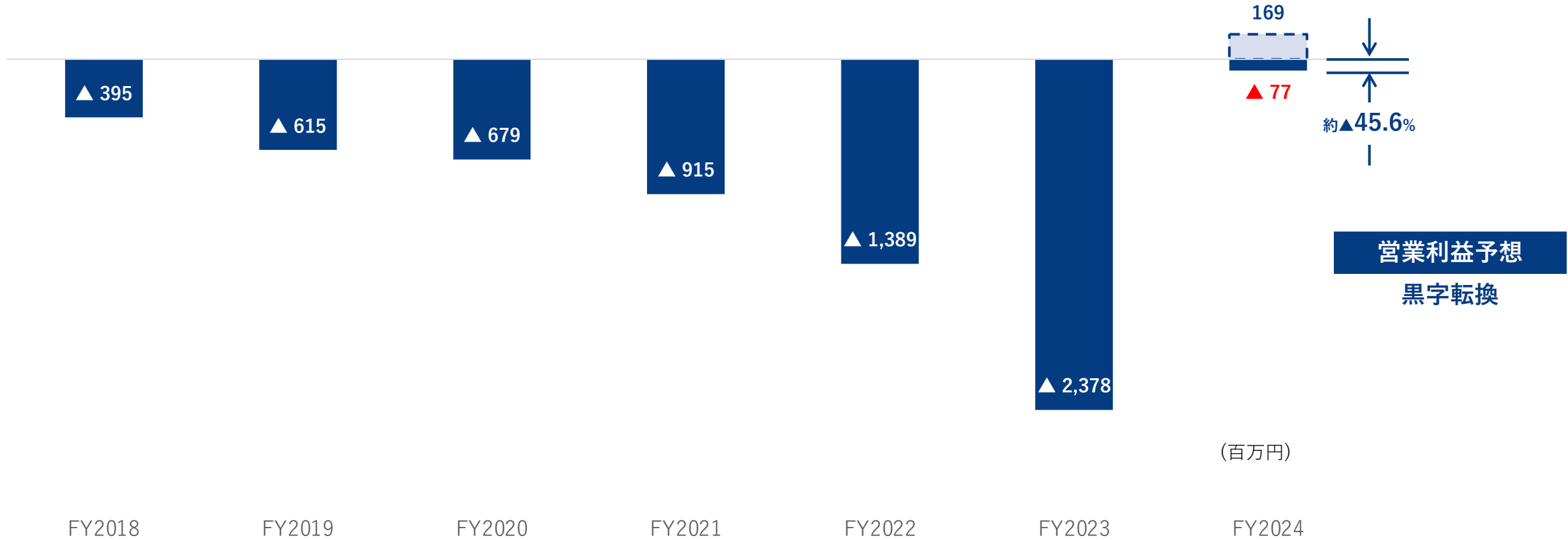
2024年10月期の売上高は前期比+16.5%増の6,302百万円を見込んでおります。第1四半期末時点で進捗率は21.5%となっております。金融サービス事業の一時的な要因により▲76百万円を計上した一方、第2四半期以降、ITサービス事業の売上が伸長することなどを踏まえ期初の計画通り順調に推移しております。





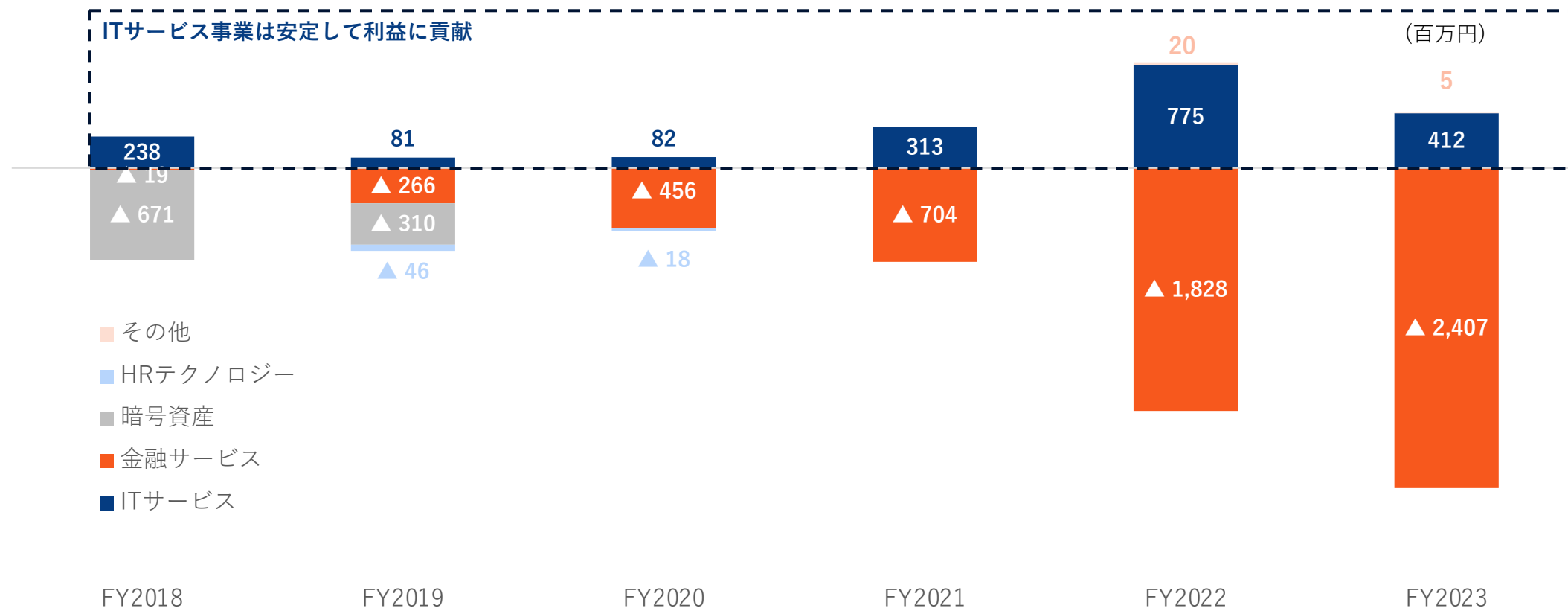
# 通期営業利益の推移と進捗状況

2024年10月期の営業利益は黒字転換により169百万円を見込んでおります。一方、金融サービス事業で暗号資産評価損などを要因とした損失が生じた結果、第1四半期時点では▲77百万円の営業損失となっております。なお、当該損失は暗号資産の価格下落を要因とした一時的なものだと考えており第2四半期以降、好調なITサービス事業を柱として通期業績目標に則して業績の拡大を見込んでおります。



## (参考) セグメントごとの通期損益の推移

2023年10月期まではITサービス事業により得た資金、及び調達した資金を主に金融サービス事業へ先行投資することで将来のキャッシュフローの最大化を図ってまいりました。一方、暗号資産価格の急落をはじめとした様々な外部要因により当初想定した利益を得ることができ2023年10月期末に事業再編を行い収益体制を抜本的に改革いたしました。



01

概要

02

2024年10月期 第1四半期決算

03

2024年10月期 通期業績見通し

04

**中期経営計画**

05

トピックス

06

Appendix

# 中期経営計画ハイライト

2026年10月期  
連結売上高**7,813**百万円

CAGR13%  
FY2023年実績比+44.6%

2026年10月期  
連結営業利益**467**百万円

営業利益率6.0%

2026年10月期  
ITサービス事業人員**725**人<sup>※1</sup>

一人当たりの売上+8.5%  
FY2023年比+8.5%

販売管理費約**2,200**百万円減<sup>※2</sup>

1. パートナー人員数を含みます。
2. 2023年10月期の通期実績をもとに算出しております。現在カイカエクスチェンジホールディングス、カイカエクスチェンジ、カイカキャピタルの譲渡、及びカイカ証券の第一種金融取引業廃止に伴う会計処理を行なっており、増減する可能性があります。

# 中期経営計画サマリー

CAICA DIGITALは2023年10月期に事業再編を行い、長期的な成長を見据えて収益体制を再構築してまいります。その一環として3ヵ年業績計画を中期経営計画として開示致します。

「デジタル金融の未来を切り拓く」のスローガンのもと、複数の金融子会社をM&Aにより取得するが、暗号資産市場の低迷や関連規制の強化など、様々な要因により当初想定した利益が得られず

2018年10月期~2023年10月期



安定的に利益を計上していたITサービス事業の伸長を図るとともに金融サービス事業における収支の状況を抜本的に見直し、事業の集中と選択を図る

2023年10月期



ITサービス事業の伸長を図りつつ、金融サービス事業の運営経験を活かしたWeb3事業を展開

2023年10月期~2026年10月期

# 新体制の事業構造と資本業務提携

今後も「デジタル金融の未来を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、Web3領域を中心に引続き金融サービス事業の展開を図ってまいります。また株式会社クシムとの資本業務提携の元、引続き暗号資産交換所Zaifとの密な協業を図ってまいります。



# 新しいCAICA DIGITALの体制図

CAICA DIGITALは安定したキャッシュフローを産むITサービス事業を基盤として、「デジタル金融の世界を切り拓く」というミッションのもと、更なるWeb3事業の拡大を図ります。またWeb3コンサル事業「CAICA Web3 for Biz」より、上流工程のSI案件を獲得することにより、ITサービス事業の収益性向上を図ります。

## 金融サービス事業



自社サービスの知見を活かしたコンサルティング事業

**CAICA Web3 For Biz**

## ITサービス事業

安定したキャッシュフローを産むSI事業

**CAICA テクノロジーズ**

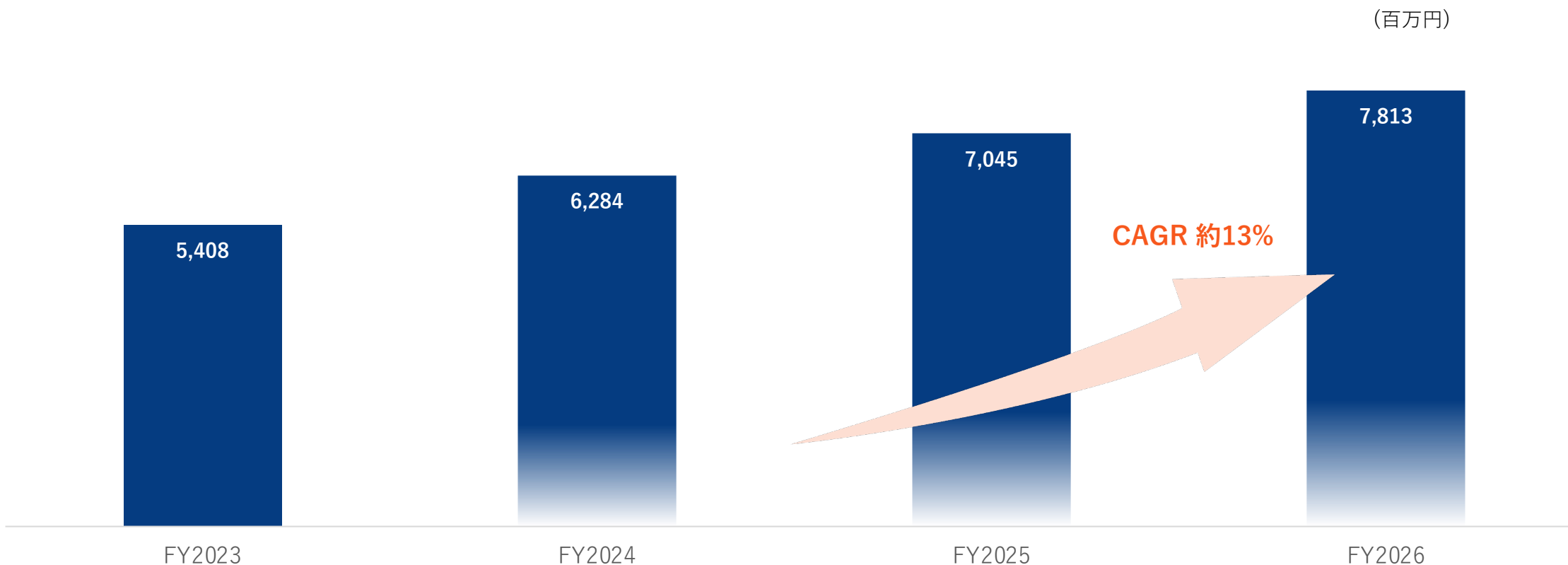
上流工程を獲得し収益拡大のために  
**スクラム体制**を構築

CAICA Web3 For Bizで生じたニーズをSI事業で網羅

**M&A活用による更なる事業拡大**

## 連結売上高見通し

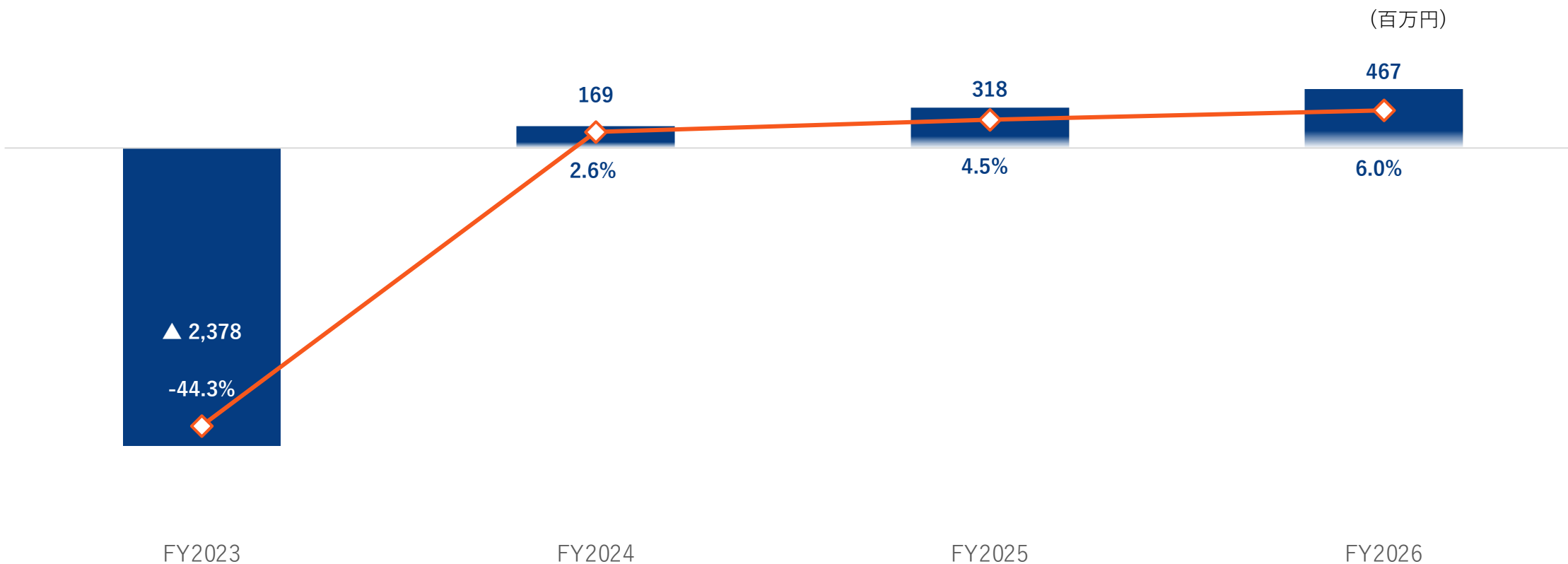
ITサービス事業、及び新規事業の伸長により2023年10月期～2026年10月期の間に年平均約13%の成長を目指します。





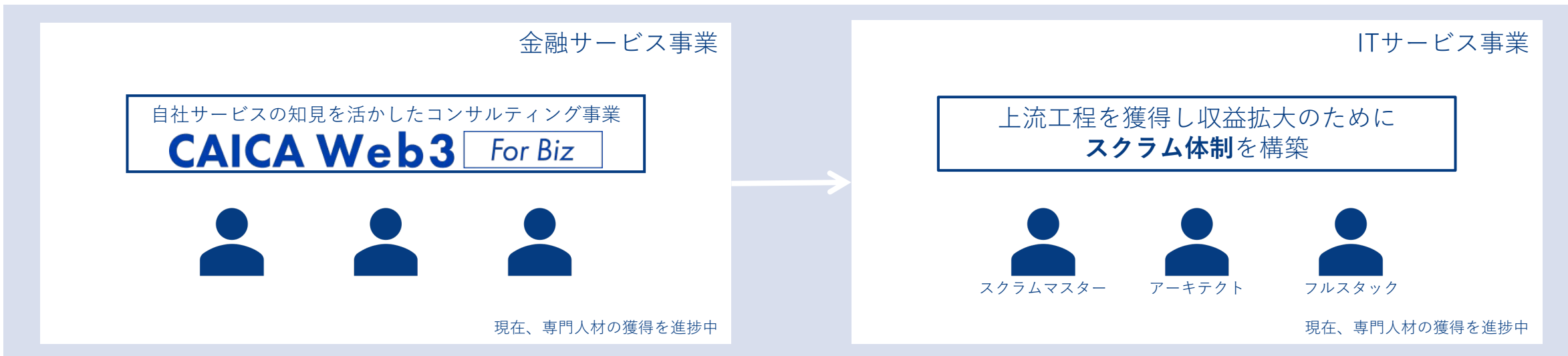
## 連結営業利益及び営業利益率の推移

2023年10月期は金融サービス事業が要因となり営業損失▲2,378となりました。また2024年10月期中も事業の選択と集中に伴うコストが一部計上される見通しであります。2025年10月期より収益化フェーズとなり以降、段階的に収支が改善される見通しです。



# IT×Web3により高単価案件を獲得

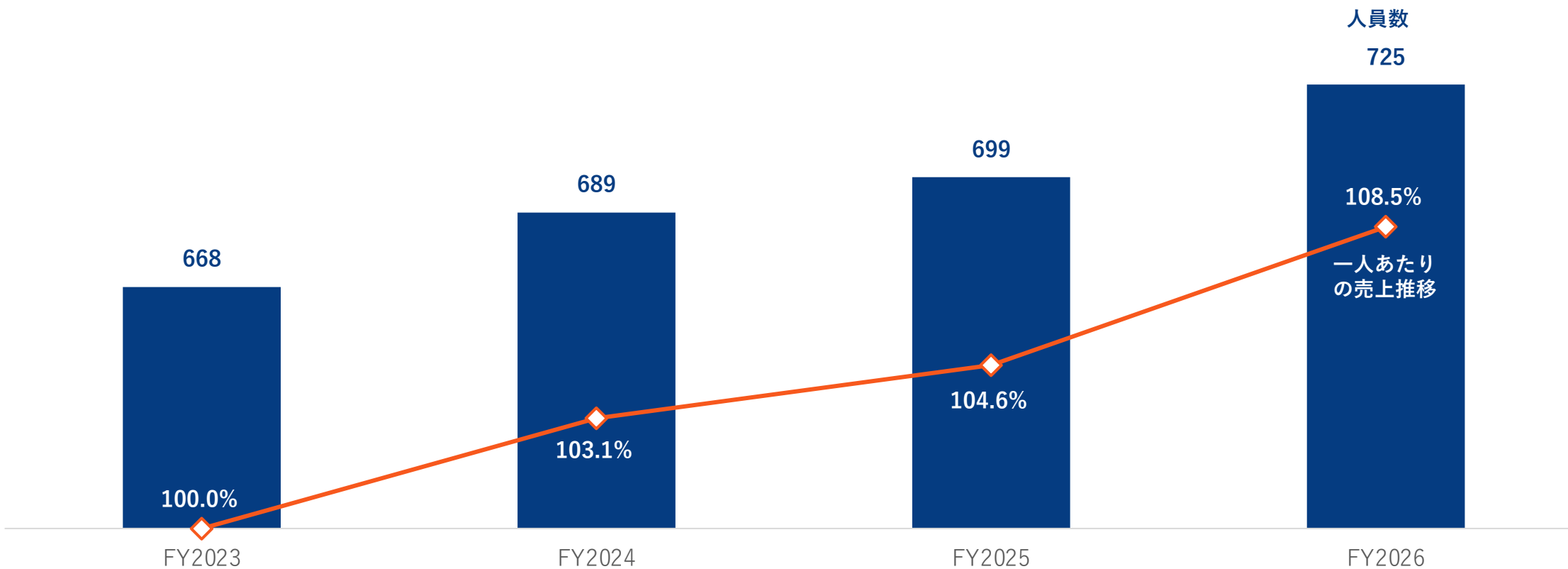
金融サービス事業で培った知見を活かし、ITサービス事業においてもWeb3領域の高単価案件の獲得を目指し利益率の改善を図り、最終年度の2026年10月期には営業利益率を6.0%まで向上させる見込みです。そのための手段として、2024年10月期よりコンサル人材、及びハイスペックなエンジニアの採用を進め、専門チームを組成します。



高単価案件を獲得し、将来的に**連結営業利益率6.0%**を目指す

## ITサービス事業の人員※1及び人員あたりの売上計画

ITサービス事業では人員の純増と併せて、一人当たりの売上増加を図りセグメント売上の伸長を図ってまいります。2026年10月期までに人員は57人純増の予定であり、一人当たりの売上は8.5%増加する想定です。



1. パートナー人員数を含みます。

01

概要

02

2024年10月期 第1四半期決算

03

2024年10月期 通期業績見通し

04

中期経営計画

05

**トピックス**

06

Appendix

## 株式会社フィスコの株式取得について

当社グループは株式会社フィスコ(3807)の株式を追加取得致しました。これにより同社のパイプラインを活かした当社の営業活動の拡大を狙います。また同社の企業価値が向上した際には株式売却によるキャピタルゲインの獲得を狙います。

### 取得の状況

取得前	保有株数	保有割合	
	994,500(株)	2.17(%)	
↓			
取得概要	取得株数	取得価格	取得総額
	5,000,000(株)	118(円)	590(百万円)
↓			
取得後	保有株数	保有割合	
	5,994,500(株)	13.09(%)	

### FISCOの経営成績

決算期	21年12月期 (連結)	22年12月期 (連結)	23年12月期 (単体)
純資産	3,624	2,063	289
総資産	5,383	3,826	2,093
売上高	1,156	1,071	450
営業利益	130	46	▲622
経常利益	239	73	▲537
当期純利益	3,801	▲2,750	▲1,591

- 株式会社フィスコの2023年12月期の営業利益は第3四半期までプラスで推移していたものの、第4四半期に同社が運用する暗号資産、FISCOコインの評価損を主因として損失を計上
- 株式会社フィスコの開示書類「事業計画及び成長可能性に関する事項」のとおり、今後、損益計算書及び貸借対照表が健全化されることを見据え政策保有を決定。

## SevenlineLabsとの事業提携により韓国市場を開拓

韓国ソウルのSevenlineLabsとの事業提携により韓国暗号資産市場の開拓を開始いたしました。これにより当社の発行するカイカコインのユーティリティ向上を図るほか、ZaifINOの発展を目指します。



- カイカコイン(CICC)によるNFT購入連携!
- カイカコイン(CICC)決済による特典付与連携!

※ 参照 <https://x.gd/rYoTY>

## カイクォインで購入可能なNFT第一弾「Zaif INOデジタルプレミアムチケット」販売

カイクォイン山分け企画の参加権、今後販売を予定しているオリジナルNFTプレセールAL確定枠権、オリジナルNFT先行情報取得権、ホルダー限定コミュニティ参加権等、様々な権利を内包するZaif INOオリジナルNFT、Zaif INOデジタルプレミアムチケットの販売を決定しました。



The advertisement features a dark blue background with a glowing purple and pink 'Zaif INO' logo on a tilted card. The card also displays a gold chip and the number '66162926293930'. To the left, white text lists the benefits and pricing of the tickets.

### デジタルプレミアムチケット 第三弾!!

- 👑 コイン山分け企画参加権
- 👑 オリジナルNFT AL確定枠
- 👑 NFT山分け企画参加権

発行枚数	200枚
販売価格	100 MATIC 2,000 CICC

※内容は予告なく変わる可能性があります。



## Zaif INOのカイカコイン決済機能実装完了

「Zaif INO」においてカイカコインによる決済機能を実装し、カイカコインでNFTを購入することができるようになりました。またカイカコインを用いて購入した場合、ディスカウントなどの様々な特典が適応されます。



①作品出展

Zaif

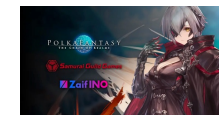
© CAICA COIN 購入



© CAICA COIN 決済

③NFT

Zaif INO



②作品の販売





2023年11月6日、11月28日リリース

## Zaif INO取扱NFT拡充

Zaif INOにて、『DUO NFT』コラボコレクション「DUO Collab Collection BITCONUSI ver.」及び、賞金付きバトロワレースゲーム Climbers（クライマーズ）のランドNFT第二弾のNFTの販売を開始しました。引続きGameFi関連をはじめとした各種NFTの取扱いを拡充し、Zaif INOの取扱高向上を図ることで、Web3業界のパイオニアとして拡大してまいります。

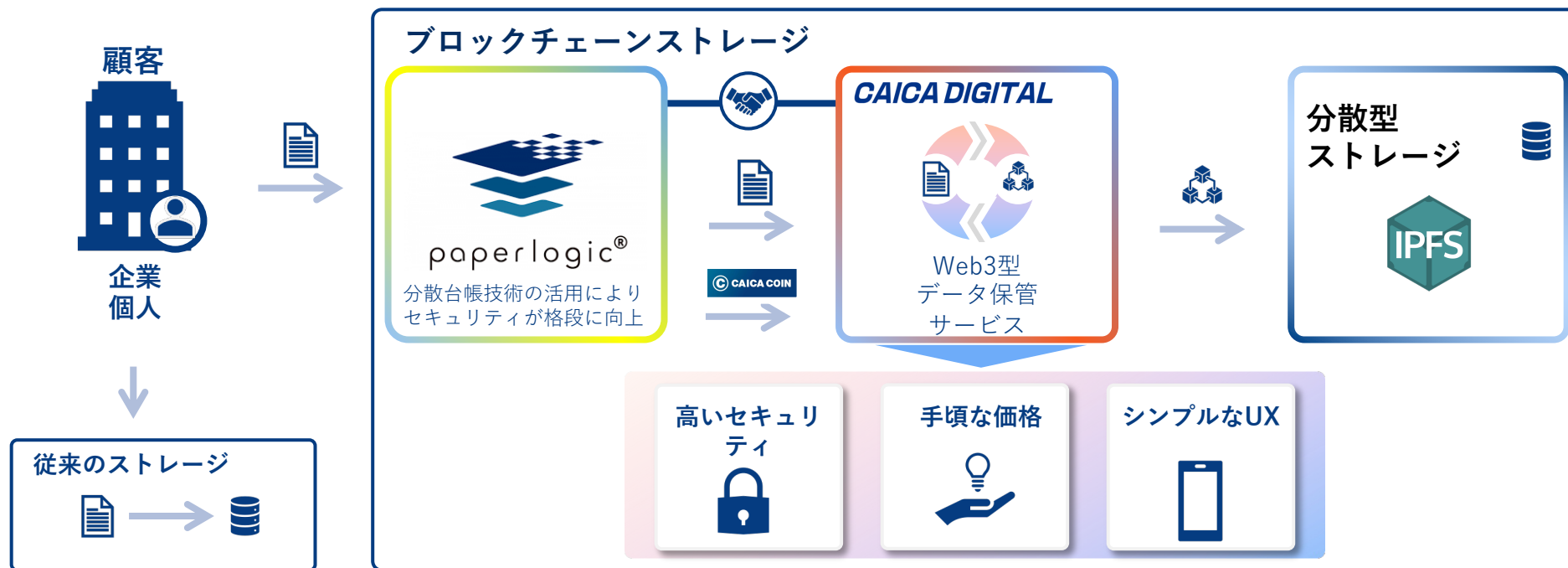


[https://www.caica.jp/wpcontent/uploads/2023/11/20231106\\_1\\_oshirase.pdf](https://www.caica.jp/wpcontent/uploads/2023/11/20231106_1_oshirase.pdf)

[https://www.caica.jp/wpcontent/uploads/2023/11/20231128\\_1\\_oshirase.pdf](https://www.caica.jp/wpcontent/uploads/2023/11/20231128_1_oshirase.pdf)

## カイカコインを活用したWeb3型のデータ保管サービスを提供開始

当社の発行するカイカコイン、及びブロックチェーンの分散型ストレージ技術を活用し、改ざん不可能かつ永続的な運用が可能な電子帳簿サービスを開始しました。現在、利用者に提供するインターフェースの開発に取り組んでおり、今後の事業拡大を計画しております。本サービスはペーパーロジック社への採用が決定しております。



2023年9月25日

## カイカコインに関するお知らせ

カイカコインは多様な施策によりユースケースを拡大し、実需を増加させることで資産価値の向上を図ります。定期的にホワイトペーパー及び、ライトペーパーを開示することで資産の信用を向上させます。



## ライトペーパー最新版公開



[https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2023/01/20230106\\_2\\_oshirase.pdf](https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2023/01/20230106_2_oshirase.pdf)

## 「CAICA Security Training/標的型メール訓練サービス」の販売を強化

サイバー攻撃の手口が多様化する中で標的メールの開封を未然に防ぐための従業員リテラシー向上プログラムの引き合いを多数いただきました。特設ページ開設や営業強化、販売パートナーの開拓などにより、今後更なる事業拡大を図ってまいります。



01 訓練メール送信

03 開封状況分析

04 教育コンテンツ作成

06 報告書作成



02 訓練メール受信

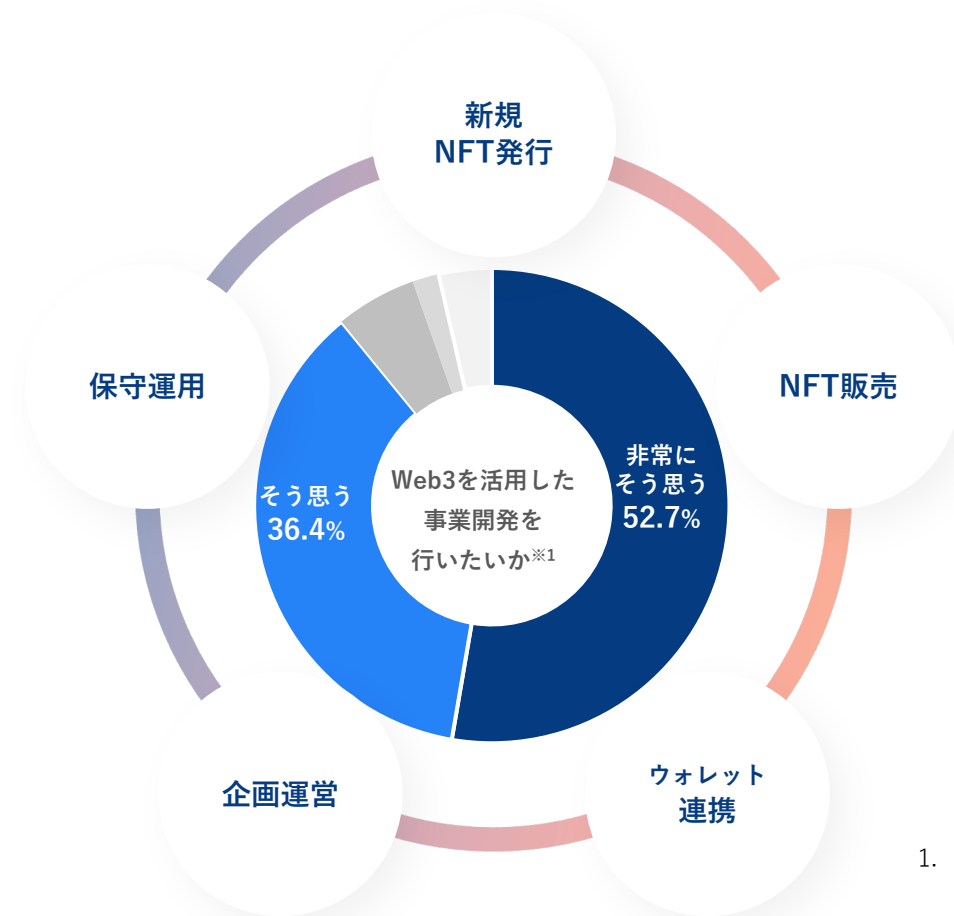
05 社員教育実施

07 改善活動実施



## Web3参入を支援する セミオーダー型NFTマーケットプレイス開発サービスを販売開始

ブロックチェーンゲーム専門のNFTローンチパッド「Zaif INO」、暗号資産交換所「Zaif」の運営ノウハウを活かし、セミオーダー型NFTマーケットプレイス開発サービス提供を開始しました。関心の高いWeb3領域におけるコンサルティング事業の拡大を図ります。



1. クラウドエース株式会社「Web3.0に関する意識調査」を参照  
<https://www.softbanktech.co.jp/corp/hr/recruit/articles/10/>



01

概要

02

2024年10月期 第1四半期決算

03

2024年10月期 通期業績見通し

04

中期経営計画

05

トピックス

06

Appendix

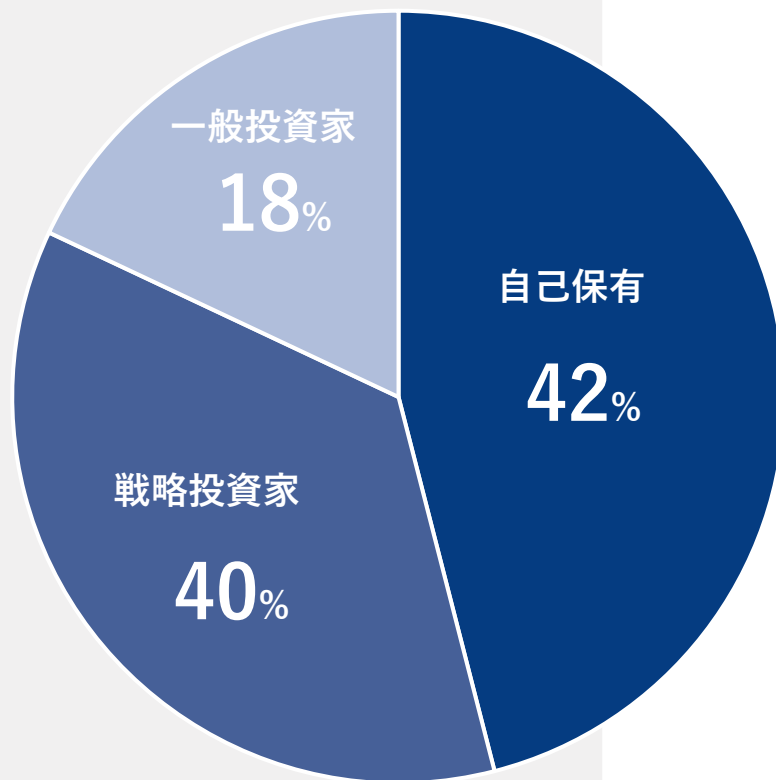


## カイカコインとは

株式会社CAICA DIGITAL(証券コード：2315)が発行するイーサリアムネットワーク上で運用されるERC20規格に準拠した暗号資産です。2023年にはPolygon対応を完了し、マルチチェーン対応のコインへと進化しています。また2023年10月現在、国内暗号資産交換所Zaif及び、海外取引所FinexBoxに上場しています。

カイカコインは上場企業CAICA DIGITALが発行し、7年に及ぶ運用実績を持つアルトコインです。

CAICA DIGITALの責任のもと活用シーンの増加に資することでさらなるカイカコインの価値向上に努めてまいります。



## カイカコイン発行状況

発行可能枚数	300百万CICC
上場取引市場	Zaif(国内) FinexBox(海外)
時価総額※1	1,440百万円
取引価格※1	4.8JPY/CICC

1. 12月17日現在の時価、及び現在時価を参考に算出



# バリューアップの三つの視点

01

## 市場環境好転

BTC価格の上昇、金利のピークアウトなどカイカコインにとって好材料となる市場環境が整いつつあると考えます。

02

## 実績と信頼

数多に存在するアルトコインの中で、カイカコインは約7年間に渡り上場企業の当社が運用してきた実績を誇ります。

03

## 用途拡大に伴う需要の増加

カイカコインはGameFiで活用されるゲームコインを目指しております。ゲームコインとしての利便性が拡がり、需要が増すことで価格の上昇が見込めると考えます。

## 本資料について

- 本資料は、株式会社CAICA DIGITAL（以下、当社）の決算情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行って頂きますようお願い致します。また、本資料の記述内容につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- 本資料には、当社および連結子会社の計画など将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づいており、様々なリスクや不確実性が内在しています。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
- 本資料は一部(百万円)または(千円)以下を切捨てて掲載しております。一方、前期比等については切捨て前の数字を参照し計算しております。